

【SES2026 プログラム】

9月12日(土)

9:00-9:15 開会式

第1会場

9:15-10:45 Oral Session 1 (教育実践)

第1会場

- 座長 伊藤 雅昭 (国立がん研究センター東病院 大腸外科)
磯部 真倫 (岐阜大学 産婦人科)
- O1-1 Briefing と Debriefing を重視した学習者主導手術教育の検討
肥田 侯矢 (大津赤十字病院 外科)
- O1-2 Dual console、OSATS 及び Zwisch scale を活用した多人数新規術者に対する RATS 教育システムの構築
田中 教久 (千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学)
- O1-3 ヘルニアチェックリストを用いた初期臨床研修医教育の実践と課題
赤坂 治枝 (弘前総合医療センター 消化器外科)
- O1-4 傾斜肝低侵襲肝部分切除における IKOMAP 計算式による切離ラインの定量化と若手肝臓外科医教育への応用
山本 有祐 (京都府立医科大学 消化器外科)
- O1-5 ショート動画とデジタルスタンプラリーを活用して糸結び習得を目指す臨床医学実習
篠原健太郎 (愛知医科大学 消化器外科)
- O1-6 腹腔鏡下胆嚢摘出術の動画解析による初学者の手技上達プロセスの解明
大森 隼人 (山梨県立中央病院 消化器外科)
- O1-7 多施設調査とセミナー発表を活用した若手医師への学術活動増加への取り組み
長沼 靖 (山形大学 整形外科学講座)

10:45-11:45 Resident Session

第1会場

- 座長 肥田 侯矢 (大津赤十字病院 外科)
三谷 壮平 (愛媛大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科)
- RS-1 デジタルイラストレーション (DI) による手術記録は外科修練を変えるか
田口 航也 (NHO 嬉野医療センター)
- RS-2 胸腔鏡下肺葉切除術における VATSAT を用いた専攻医の術後自己評価の導入
石角まひろ (京都桂病院 呼吸器外科)
- RS-3 初期研修医2年目で執刀機会を与えられて思ったこと
前川 未有 (高松赤十字病院 消化器外科)
- RS-4 感性アナライザ®を用いた術中ストレス反応の可視化：器械出し看護師教育へ応用を見据えた実行可能性の検証
堀 寛治 (旭川市立病院 初期臨床研修医)
- RS-5 Surgeons as Learners：外科医の自律的成長のための理論的基盤と方略
山岡 有花 (関西医科大学 呼吸器外科学講座)
- RS-6 オンライン手術振り返りフォームの活用経験—専攻医からみた有用性と継続への課題
服部 志歩 (関西医科大学 呼吸器外科学講座)

【SES2026 プログラム】

12:00-13:00 ランチョンセミナー 1

第1会場

- 司会 赤松 秀輔（名古屋大学 泌尿器科学）
- 演者 進行腎細胞がん一次治療の現状と治療戦略
大澤 崇宏（新潟大学 腎泌尿器病態学講座）
- 演者 尿路上皮癌における医師と治療の進歩
安部 崇重（北海道大学 腎泌尿器外科学教室）

共催：MSD 株式会社

13:00-13:30 企業プレゼンテーション①

- 司会 栗本 景介（名古屋大学 消化器・腫瘍外科）

14:00-15:30 Award Session

第1会場

- 座長 家入 里志（鹿児島大学）
座長 サシム パウデル（北海道大学 消化器外科 II）
- AW-1 若手産婦人科医に対する同世代間少人数手術動画公開レビューによる教育の効果
中村加奈子（国家公務員共済組合連合会立川病院 産婦人科）
- AW-2 「教える」×「教わる」を統合するステップラダーシステム：外科臨床実習における自己効力感の検討
花木 武彦（鳥取大学 医学部 消化器・小児外科学）
- AW-3 「術野展開を科学する」～EMI（Exposure Maintenance Index）記法によるロボット支援手術における術野状態の構造化～
野原 隆弘（金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 泌尿器集学的治療学分野）
- AW-4 高頻度で認知過負荷を誘発する鏡視下シミュレーションモデルの構築
金澤 知大（慶應義塾大学 医学部医学科）
- AW-5 消化器外科医のバーンアウトと離職意向：外科医療の持続可能性に向けた北海道横断調査
佐野 海渡（北海道大学大学院 医学研究院 消化器外科学教室 II）
- AW-6 SIMPL を用いた産婦人科手術教育における修練医自己評価と指導医評価の一致度の検討
小谷 泰史（近畿大学 医学部 産科婦人科学教室）
- AW-7 こんにゃく粉製模擬臓器の外科手技訓練における妥当性評価
比企瑠璃子（杏林大学 医学部医学科）

16:00-17:45 Poster Session I: ニーズアセスメント・フィードバック

第1会場

- 座長 西原 佑一（けいゆう病院）
大下 彰彦（JA 尾道総合病院 外科）
- P1-1 学習者中心型外科研修を目指した個別目標シート導入の効果
前田 将宏（京都大学医学部附属病院 消化管外科）
- P1-2 周産期専門医志向に関連する因子の検討：縫合技術評価と症例経験量の観点から
河井啓一郎（名古屋大学医学部附属病院 産婦人科）
- P1-3 市中病院における初期研修医の外科研修ニーズアセスメント：研修前アンケート導入の取り組み
加藤 大貴（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 外科）
- P1-4 開放手術第一助手教育の課題可視化に向けた実態調査
西田 幸代（札幌医科大学 泌尿器科）

【SES2026 プログラム】

- P1-5 LINE を用いた専攻医に対する手術手技のフィードバックの実践
鈴木 敏之（羽生総合病院）
- P1-6 学生は何を見ているのか？—実際の手術構成との乖離に着目した実習改善の試み—
深澤 美奈（富山大学 学術研究部医学系 消化器・腫瘍・総合外科）
- P1-7 日本独自の手術評価・フィードバックアプリ PERFORM の開発に向けた診療科横断的ニーズアセスメント
永代 友理（東京大学）
- P1-8 研修医視点から考える早期執刀教育 —「支えられたこと」と「足りなかったこと」—
肥田 太陽（手稲溪仁会病院 外科）
- P1-9 事後アンケートに基づく初期研修医向け手術手技セミナー改善の取り組み
福井 太郎（自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科）
- P1-10 マイクロサージャリートレーニングにおける専攻医のニーズ調査
福永 豊（川崎医科大学 形成外科学）
- P1-11 臨床研修医における自己研鑽の必要性の認識に影響する因子の探索
笠原 桂子（京都大学医学部附属病院 外科）
- P1-12 静がん婦人科レジデントシステムの課題と展望
川村 温子（静岡県立静岡がんセンター 婦人科）

16:00-17:45 Poster Session 2: 教育法 I

第2会場

- 座長 羽田 智則（四谷メディカルキューブ）
村上 壮一（北海道大学病院 先端医療技術教育研究開発センター／消化器外科 II）
- P2-1 臨床実習（ポリクリ）を通じた5年次学生の外科系志望に関する意識調査
岡村 行泰（日本大学 医学部消化器外科）
- P2-2 形成外科医のいない病院の研修医に縫合教育を行う試み～縫合キャラバン 2025～開催と今後の展望
安村 恒央（JA 愛知厚生連 海南病院 形成外科）
- P2-3 学会発表を契機に発展した手術動画教育の取り組み
八木 史生（本荘第一病院 外科）
- P2-4 SNS を契機とした形成外科専門医による外科系処置教育の多職種展開について
平井恒太郎（宇治徳洲会病院 形成外科）
- P2-5 思い切って初期研修医に執刀機会を与えてみたこと
藤原 理朗（高松赤十字病院 消化器外科）
- P2-6 大規模急性期病院における院内横断的プログラムの実践～ERAS 導入における多職種教育を基盤とした連携構築と段階的展開～
北村 好史（兵庫県立尼崎総合医療センター）
- P2-7 毎朝6時半のLINE 通話は若手外科医の習慣を変えるか？
清水 綾乃（自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科）
- P2-8 臍頭十二指腸切除術執刀による専攻医の開腹手術手技教育
伊良部真一郎（聖隷浜松病院 外傷救急外科・肝胆膵外科）
- P2-9 教育が術野を変える～技術認定医による周術期教育がもたらしたもの～
神下 優（佐賀大学 産科婦人科学）
- P2-10 教育手段としてのヘルニア技術認定取得
加藤 翔子（愛知医科大学病院 消化器外科）

【SES2026 プログラム】

- P2-11 消化器外科手術の学び直しにおける腹腔鏡下胆嚢摘出術の効果：自らの経験を通じた解析
森本 智紀（高松赤十字病院 消化器外科）
- P2-12 市中病院における若手外科医による膵頭十二指腸切除術執刀についての取り組み
猪川 祥邦（岐阜県立多治見病院 外科）

16:00-17:30 Poster Session 3: リクルート・教育カリキュラム

第3会場

- 座長 鈴木 研裕（聖路加国際病院）
砂田 真澄（京都大学 婦人科学産科学教室）
- P3-1 専攻医が自己設計する学習目標の共有システムは、学習者背景を可視化する
吉政 佑之（済生会宇都宮病院 産婦人科）
- P3-2 初期研修における外科志望維持に関与する要因の解析：選択研修期間と教育プログラムの役割
賀島 肇（岡山大学 消化器外科）
- P3-3 生成AIで作成した学習管理ウェブアプリを用いた医学生・研修医向け外科スキルアップコースの実践
谷口 春樹（浦添総合病院 呼吸器センター外科）
- P3-4 消化器外科クリニカル・クラークシップは医学生の外科志望を具体化しうるかー 実習前後アンケートに基づく単施設観察研究ー
松原 毅（島根大学 医学部消化器総合外科）
- P3-5 外科専攻医からロボット外科手術始めるための教育プログラム
脊山 泰治（がん・感染症センター都立駒込病院 肝胆膵外科）
- P3-6 SNSを活用したリクルート戦略の成果と課題～もっと遠くへ届け～
赤井 正明（岡山赤十字病院 外科）
- P3-7 教育活動の見える化、教育者間での共有、そして日常診療に溶け込む継続的フィードバック体制の構築による外科診療参加型臨床実習のこころみ
田中 晴祥（名古屋大学医学部附属病院 消化器腫瘍外科）
- P3-8 形成外科医による SaE コース受講経験の報告：教育意識の変容とアンケート調査
鈴木翔太郎（福岡大学病院 形成外科）
- P3-9 部分執刀による段階的な卒後4年目の呼吸器外科専攻医研修の実際と有効性：1年後の肺葉切除を目指して
山田 英司（福山市民病院呼吸器外科）
- P3-10 初期研修医アンケートから考える消化器外科志望者の進路選択背景
山口有輝子（千葉大学大学院 医学研究院先端応用外科）
- P3-11 乳腺外科実習における医学生へのニーズ評価と教育方法の検討
荒町優香里（国立病院機構 北海道がんセンター 乳腺科）

17:45-18:15 会長講演

第1会場

- 司会 神田 光郎（名古屋大学 消化器外科学）
- 未来へ紡ぎ、育む 一技と心の継承ー
演者 高見 秀樹（名古屋大学 消化器・腫瘍外科／第13回日本外科教育学会学術集会 会長）

19:00-21:00 懇親会

- 参加費 6,000円 学生は1,000円（大学院生は6,000円）※完全事前申込制
会場 サイプレスホテル名古屋駅前（名古屋市中村区名駅 2-35-24）

【SES2026 プログラム】

9月13日(日)

8:30-10:00 Oral Session 2 (教育研究・その他)

第1会場

- 座長 安部 崇重(北海道大学大学院 医学研究院腎泌尿器外科学教室)
植村 宗則(熊本大学大学院 先端科学研究部 医工学部門)
- O2-1 ラーニングカーブからみた低出生体重児の腸管吻合におけるトレーニング回数の検討
高澤 慎也(東京大学 小児外科)
- O2-2 救命のための四肢切断 CSRM を担う外科医育成に向けた災害医療 VR トレーナーの教育的有用性
村上 壮一(北海道大学病院 先端医療技術教育研究開発センター／消化器外科 II)
- O2-3 変革の意欲は高いのに改革が進まない：日本外科教育の障壁構造を示す横断調査
石堂 敬太(北海道大学大学院 医学院・医学研究院 消化器外科学教室 II)
- O2-4 地方大学における学術活動型外科教育の実践 — 若手の内的動機を動かす教育モデル —
安藤 恭久(香川大学 消化器外科)
- O2-5 医学生の腹腔鏡外科手技成績に関連する非外科技能：ゲーム課題との比較
服部 稔(広島大学医系科学研究科 医学教育学講座)
- O2-6 ”順位づけ”は若手外科医を育てるのか？：ウェットラボトレーニングにおける公開フィードバックと自己調整学習の関係
今井 賢(自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科)
- O2-7 軟部組織手術におけるテンションマネジメントの認知構造の解明：外科領域を横断した質的研究
三谷 壮平(愛媛大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科)

10:00-10:30 ASE 会長講演

第1会場

- 司会 大下 彰彦(JA 尾道総合病院 外科・内視鏡外科・肛門科)
櫻井 梓(京都大学 産婦人科産科学教室)
- 演者 Use of Video Review for Intra-operative Coaching
Professor Marc de Moya (President Association for Surgical Education)

10:45-11:15 スポンサーセッション I

第1会場

- 司会 服部 正嗣(名古屋医療センター 外科)
- 一般市中病院で外科医の獲得と、後輩外科医とともに成長することを意識して手術イラストを描いてきました
- 演者 中澤 幸久(協立総合病院 外科)
- イラスト作成が導く外科教育 — 医学生実習、オペレコ、そして AI 時代への展望 —
- 演者 畑中 勇治(岐阜大学 消化器外科)
- 共催：ミヤリサン製薬株式会社

10:45-11:15 スポンサーセッション 2

第3会場

- 司会 高見 秀樹(名古屋大学 消化器・腫瘍外科)
- キャリアトランジションを考える — スキルセットの磨き方
- 演者 植村 宗則(熊本大学大学院 先端科学研究部 医工学部門)
- 共催：コヴィディエンジャパン株式会社

【SES2026 プログラム】

11:15-12:15 Student Session

第1会場

- 座長 木村 友和（名古屋大学 泌尿器科）
山根 裕介（佐世保市総合医療センター）
- SS-1 外科志向医学生の学生コミュニティへのニーズに関する検討：日本外科系学生連合アンケート調査
稲田 咲耶（信州大学 医学部医学科）
- SS-2 順天堂大学における学生主体の外科手技トレーニングへの取り組みとその成果
平山 大徳（順天堂大学 医学部）
- SS-3 結紮・縫合サークルにおける活動が医学生の技術やキャリア志向に与える影響
宮田 悠真（信州大学 医学部医学科5年）
- SS-4 学生のより効果的なロボットトレーニングを目指して
尾之内菜々子（順天堂大学 医学部）
- SS-5 肉眼解剖学における学生同士の Peer Learning を取り入れた外科手技演習について
服部虎太郎（杏林大学 医学部医学科）
- SS-6 縫合トレーニングにおける VR 教材の教育効果に関する検討
佐野 友洋（杏林大学 医学部）

12:30-13:30 ランチョンセミナー 2

第1会場

『若手が求める「タイパ」と「納得感」：AIを活用した持続可能な外科修練のカタチ』

- 司会 肥田 侯矢（大津赤十字病院 外科）
- 演者 池田 惇平（慶應義塾大学医学部外科学（一般・消化器））
- 演者 渡邊 祐介（藤田医科大学先端ロボット・内視鏡手術学講座／
北海道大学病院医療・ヘルスサイエンス研究開発機構）
共催：ディリーバ株式会社

13:45-15:00 Poster Session 4: 教育法 II・学習者評価

第1会場

- 座長 藤原 理朗（高松赤十字病院 消化器外科）
石堂 敬太（市立旭川病院）
- P4-1 専攻医教育における頬骨骨折手術手順書の作成とタスク構造化の試み
林 稔（聖マリア病院 形成外科）
- P4-2 開放手術経験減少下における助手としての課題に着目した基本手技教育
桐澤 崇宏（札幌医科大学 泌尿器科学講座）
- P4-3 臍頭十二指腸切除術における執刀交代制による若手教育
日高 匡章（島根大学 消化器・総合外科）
- P4-4 手術スケッチの教育的評価軸を再考する：画力主義からの脱却と「認知境界の可視化」という視座
白井 萌陸（関西医科大学 呼吸器外科学講座）
- P4-5 手術の先にある生活を学ぶ：熱傷患者ナラティブを用いた外科系態度教育
力丸由起子（久留米大学 形成外科・顎顔面外科）
- P4-6 ロボット支援下胃切除術における包括的な助手教育の取り組みとその効果
飯塚 彬光（名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科）
- P4-7 音声付き手術動画導入の障壁と運用設計：多職種調査に基づく外科教育実践報告
長山 和弘（川崎幸病院 呼吸器外科）

【SES2026 プログラム】

- P4-8 師匠より授かりし結紮練習 advance を紡ぎ、次世代へ継承する
今井 健晴（岐阜市民病院 外科）
- P4-9 見学から参加へ：地方中核病院における外科クリニカルクラークシップの実践と課題
横山 拓史（大館市立総合病院 外科）

13:45-15:00 Poster Session 5: ロボット教育・AI 活用

第2会場

- 座長 野間 和広（岡山大学 消化器外科）
田中 良太（杏林大学 呼吸器外科）
- P5-1 タイムマネジメント時代の鏡視下・ロボット手術教育～アノテーション指導と ICT ツールを用いた可視化教育の有用性～
田辺 俊介（岡山大学病院 消化管外科）
- P5-2 解剖教示 AI「EUREKA」が手術ビデオを見る医学生の視線に与える影響
大西 竜平（京都大学大学院 消化管外科）
- P5-3 ロボット支援肝切除における手技の定型化と実地修練の工夫による技術教育への取り組み
藤川 貴久（小倉記念病院 外科）
- P5-4 腹腔鏡手術における鉗子位置情報の解析
山田 海俊（北海道大学大学院 情報科学院）
- P5-5 手術スケッチにみる技と心の継承：ある呼吸器外科医の 18 年縦断描画解析
齊藤 朋人（関西医科大学 呼吸器外科学講座）
- P5-6 市中病院発・若手を「助手」で終わらせないロボット支援肺切除:DRATS による Bedside Surgeon 育成
庄司 剛（大津赤十字病院 呼吸器外科）
- P5-7 ロボット支援手術の安全な導入拡大を支える多職種・多段階人材育成プラットフォーム構築の実践報告
鍋島 一仁（東海大学医学部附属八王子病院 消化器外科）
- P5-8 地方におけるデータベース統一の学術的効果と AI を用いた論文指導
富永 哲郎（諫早総合病院）
- P5-9 CUSUM カーブから見るパート別の鏡視下・ロボット食道切除のラーニングカーブの特徴
橋本 将志（岡山大学病院 消化管外科）

13:45-15:00 Poster Session 6: シミュレーション教育・その他

第3会場

- 座長 堀 周太郎（慶應義塾大学 消化器外科）
山内かづ代（獨協医科大学 医学教育学）
- P6-1 マイクロサージャン育成プログラム：これまでの歩みと改善に向けて
林 優子（岡山大学病院 形成外科）
- P6-2 反復練習がもたらす認知負荷軽減 — 医学生の外科基本手技トレーニングにおける検討 —
堀 周太郎（慶應義塾大学医学部 外科学教室）
- P6-3 疾患型シミュレータと手技指導アプリを用いた off-the-job トレーニングによる発展途上国での小児内視鏡外科手術の導入支援
村上 雅一（北海道立子ども総合医療・療育センター 小児外科）
- P6-4 「見る外科」から「やる外科」へ — 外科医リクルートを見据えた体験型医学生外科教育 —
二宮 繁生（大分大学 消化器・小児外科学講座）
- P6-5 “サボり期間”と“紙の違い”は技術に影響するか？— 腹腔鏡下折り鶴トレーニングを用いた検討 —
林 成龍（順天堂大学 医学部）

【SES2026 プログラム】

- P6-6 肝胆膵高難度手術主体の当科における研修医執刀腹腔鏡下胆嚢摘出術の安全性と教育的工夫
川野 陽一（日本医科大学付属病院 消化器外科）
- P6-7 指導医教育を組み込んだ外科手術セミナーの試み
藏田 能裕（千葉大学医学部附属病院 食道・胃腸外科）
- P6-8 家事と手術はつながる 一振り返れば見えてくる定型化の本質と次世代へ伝えたいこと—
白井 雄史（横浜総合病院）
- P6-9 体外衝撃波結石破碎術（ESWL）教育前後の治療選択と自己評価の変化
岡田 淳志（名古屋市立大学大学院 医学研究科 腎・泌尿器科学分野）

15:00-16:30 Oral Session 3（教育研究・実践）

第1会場

- 座長 和田 則仁（神戸大学大学院医学系研究科 医療創成工学専攻）
本間 崇浩（聖マリアンナ医科大学 呼吸器外科）
- O3-1 臨床実習における清潔手袋サイズ選択の変化と適正化への助言：医学生を対象とした実態調査
山根 裕介（佐世保市総合医療センター）
- O3-2 Instagram を用いた外科関連コンテンツの発信とランダム化比較試験による効果計測
山本 健人（京都大学 消化管外科）
- O3-3 小児外科マイルストンの自己評価の継続実施と教育的意義の検討
益子 貴行（茨城県立こども病院 小児外科）
- O3-4 女性肝胆膵外科医全国調査からみえた \n 高難度外科領域における教育・キャリア形成の課題
中村 真衣（国立国際医療センター病院 肝胆膵外科）
- O3-5 外科志望初期研修医に対する早期外科研修と学術活動支援の取り組み
真島 宏聡（広島市立広島市民病院 外科）
- O3-6 質問しやすい手術教育環境の構築に向けた産婦人科医の意識調査
砂田 真澄（京都大学病院 産婦人科）

16:30 閉会式

第1会場

高見 秀樹（名古屋大学 消化器・腫瘍外科）